

常陸太田市・秋田市・仙北市 連携交流合意書締結

11月17日、茨城県常陸太田市役所で佐竹氏に縁のある常陸太田市・秋田市・仙北市の間で連携交流合意書調印式が行われました。

調印式には石黒市長をはじめ大久保常陸太田市長、佐竹秋田市長が出席し、合意書に署名、締結されました。

これまでは、合併前の角館町と金砂郷町（現常陸太田市）が平成10年に佐竹北家による縁で有縁友好交流宣言を締結し、また常陸太田市と秋田市は昭和52年に姉妹都市締結を結び、それぞれ交流を行ってきました。

この連携交流では平成の大合併で行政の枠組みが変化したのを受け、これまでの関係をもとに3市が新たな枠組みで交流を続けていこうとするものです。

3市は、文化、観光・経済、災害時相互支援、青少年、スポーツ、行政間といった分野において交流を進めることとしています。



左から、大久保市長、佐竹市長、石黒市長

第1回地域づくり事業 歴史と文化フォーラム

“市民として自分たちのできることは自分たちの手で”をスローガンに地域に貢献しようと立ち上げた市民団体「ルネッサンス・角館」が主催する地域づくり事業「歴史と文化フォーラム」が開催されました。

第1回目は10月27日、角館樺細工伝承館を会場に中田達男伝承館長による「文教の地角館と伝承館」と題した基調講演と「伝建群の中の公共施設としての役割」をテーマに稲葉通誠氏、嶋崎辰雄氏、八柳良太郎氏によるフリートークが行われました。

第2回目は11月24日に平福記念美術館を会場に、県立近代美術館の山本丈志学芸主事を講師に「秋田画人の系譜」、米澤鐵男美術館長による「平福記念美術館・現況と今後の課題」と題した講演が行われました。

ルネッサンス・角館では、1月24日に総合情報センターを会場に第3回事業として秋田県立大学準教授の高橋秀晴氏を講師に迎え、「仙北市の先人たち」と題した講演を予定。その後、田沢湖、西木地区でも順次開催していきたいと話していました。



小田野直武の「不忍池図」の解説をする山本氏

第2回仙北市文化祭 角館・田沢湖・西木3地区で開催

第2回仙北市文化祭・角館地区が10月21・22日、角館広域交流センターで、田沢湖地区が11月3・4日、生保内市民体育館で、西木地区が12月3日、西木温泉クリオンと横の体育館で、それぞれ行われました。

各会場には、日頃の活動成果として、絵画や写真、書道、陶芸、パッチワーク、生け花、短歌、俳句、さつきなど、多数展示されたほか、茶道・ポーセラーツ・七宝焼・絵手紙などが体験できるコーナーが設けられ、来場者でにぎわっていました。

また、角館地区と西木地区では、民謡や手踊りなどの芸能発表も行われ、会場からは盛んと拍手が送られました。



角館地区の文化祭



田沢湖地区の文化祭



西木地区の文化祭